

地域の

福祉のお仕事シリーズ⑥

社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域の皆さんとともに“ふくしのまちづくり”を進めています。

地域の福祉のお仕事シリーズでは、社協の事業とともに地域で活躍しているさまざまな福祉の専門職をご紹介します。“ふくしのまちづくり”が、

ふだんの **く**らしの **し**あわせに
つながりますように。

社会福祉協議会の **鶴ヶ島 社協** で **検索**
ホームページ・Instagramをご覧ください。

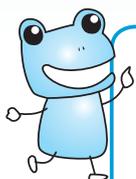


ふくしの 社協だより No.153 まち

R6.7.1

ふれあいネットワーク

社会福祉
法人 鶴ヶ島市社会福祉協議会



放課後児童指導員 NPO法人カローレ「ひまわりクラブ」



放課後児童指導員とは、働く保護者に代わって子ども達の安全を確保し、適切な遊びや生活の場を提供して子ども達の健全育成をサポートするお仕事です。今回は、「ひまわりクラブ」の放課後児童指導員 田邊 昭子さんにお話を伺いました。



お仕事の詳しい内容を教えてください。（※この仕事を選んだ理由、お仕事の詳しい内容、一日の流れなど）

子ども達が下校してから保護者がお迎えに来るまで、安全安心に配慮し子ども達の発達段階に応じた“遊び”を通して、仲間作りや社会性を育みます。夢中になる力、粘り強さ等生きる力を身につけられるよう、『第2の家庭』として保育しています。

外遊びの他、夕方にはおやつの時間があり、手作りする日もあります。最近では、コロッケや餃子などを作りました。おやつ後は掃除や片付けをしながら、お迎えまで楽しく遊んで過ごします。



大変なこと、やりがいを感じることを教えてください。

毎日100人近い子ども達と、7人～8人の職員で力を合わせて生活しています。

“遊び”の中から成長する機会を確保すると共に、安全安心を守っていくために、日々一生懸命活動する子ども達と奮闘しています。子ども達の成長の場面に立ち会った時の嬉しさはひとしおです。保護者には、その様子を保育報告でお伝えしています。子ども達が自分たちで決めたことは、自分たちでできるようになる、一緒に乗り越えた仲間との絆も強くなる、そうした成長していく瞬間がたまらないです。



今後の目標、やりたいことなどを教えてください。



目まぐるしく変化していく社会や文化の中で、防災意識を共有して、子ども達が主体的に自立しながら自己実現できるよう成長を促す支援をしていくことが目標です。

具体的には、食育を含む農業体験やごはん、おやつ作り等です。これから先、未来を担う子ども達に生きる術を一つでも多く身につけていける保育をしていきたいです。





権利擁護の必要な方の安心と生活を地域で支える

社会福祉協議会の権利擁護支援センターでは、法人後見事業や福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)、成年後見利用促進事業および市民後見人等を通して、判断能力に心配のある方々の生活と財産を守っています。本人の思いを大切にしながら、地域の方々や福祉専門職の方々とチームを組んで支援をしています。



団塊の世代が75歳になる2025年問題と言われて久しいですが、来年はいよいよ、2025年となります。少子高齢化が進み、30年前は全国でも一番若い市(高齢化率6.7%)と言われていましたが、現在は高齢化率が29.5%となっています。2000年に介護保険制度と同時に成年後見制度が導入されました。国の仕組みも、時を経て少しずつ変化しています。

権利擁護支援センターについては、社協だよりNO.151 6ページをご確認ください。

成年後見制度とは

知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることが心配な人の思いを地域みんなで分かち合い、いろいろな契約や手続をする際にお手伝いする制度です。

一人暮らしで身寄りのない女性 70歳代

※以下は、実際に権利擁護支援センター(当センター)で関わったケースを本人が特定できないようにしています。

地方出身のAさんは、学校を卒業後上京し、20歳代で結婚、自営業の夫を支え懸命に働いた。子どもはなく、夫婦2人暮らし。親族は遠方のため、疎遠であり、連絡もとれない。60代後半で自営業は廃業した。2年前、最愛の夫が亡くなったことで認知症状が出始めた。近所の方が心配して、地域包括支援センターにつながり、介護保険を利用することになった。



ケアマネジャーから当センターへ「金銭管理が難しく、お金がどうなっているのかわからない。買い物も自宅の小銭を集めて支払っている状態である。」と相談があった。

ケアマネジャーと一緒に訪問。

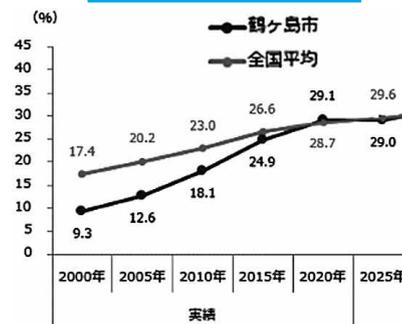
Aさんは「もう何もわからなくなって…」と涙ぐむ。成年後見制度について、数回説明を行った。はじめは、理解できない様子であったが、支援している近所の方からの助言もあり、本人も納得して、社会福祉協議会(社協)が行っている法人後見事業につながった。成年後見人申立を行い、社協が後見人として裁判所から選任された。現在は当センターが

光熱水費、税金等の引き落としの手続きや日常的なお金の管理、介護サービスの契約、定期訪問を行いながら、Aさんの気持ちや希望に寄り添った支援をしている。

今でも、さみしさから「死んでしまいたい」と時々泣くこともある。それも受け止めながら、ケアマネジャーやヘルパー、デイサービスの職員、ご近所の方と一緒に社協の当センターがチームとしてAさんを支えている。

今後さらに、認知症状が進んでいくこともあるかもしれないが、これからもAさんをチームで支え続けていく。

鶴ヶ島市の高齢化率の推移

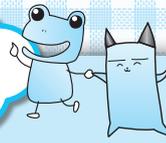


※高齢化率：総人口に占める65歳以上の人口割合 (%)
© jp.gdfreak.com

▶データ出所
総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口、総務省住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数を基にGD Freak!が作成



さあ やろう！シリーズ②



～「集いの場」「ボランティア団体」の紹介～

このシリーズでは、地域で気軽に参加できる「集いの場」や「ボランティア団体」を紹介していきます。第二弾は、「ボランティア団体」からの紹介です。

地域の「ボラティア」

ボランティアとは、社会課題の解決のために、自分のできることを・できる範囲で・自らすすんで行うことをいいます。特徴として「自主性・主体性」、「社会性・連帯性」、「無償性・無給性」「創造性・開拓性・先駆性」があげられます。

社会福祉協議会には、約50の団体がボランティア登録をしています。環境、福祉、防災、演芸、国際、IT、子ども等様々なボランティアが立ちあがっています。

楽しいことを見つけて、やりたいことを始めてみると、自分の時間に彩りが添えられますね。



ウクレレルアウ



「ウクレレルアウ」の名前の由来について・・・

「ルアウ」とは、ハワイ語で「^{うたげ}宴」の意味です。

ウクレレの穏やかな音に癒されながら、ハワイアンやポップスなどいろいろな曲を弾いて歌い、楽しんでいるサークルです。

施設やサロンで演奏させて頂くことが練習の目標になり、モチベーションも上がるそうです。

ウクレレルアウさんの歌や演奏は様々なバリエーションがあり、聴いている方々に癒しや楽しさを与えています。今後の活躍も楽しみです。



演奏と歌で、その場は一気に常夏の島ハワイへ施設の皆さんも一緒に楽しいひと時を過ごしました

他にも、様々なボランティアがあります。

ご興味のある方は、お気軽に社会福祉協議会までお問合せください！



詳しくはこちら

「地域共生社会」に関する標語を募集します！

社会福祉協議会では「誰もが安心していきいきと暮らせるまちをつくります」を基本理念に、地域福祉を推進しています。下記の通り、標語を募集します。

※地域共生社会とは：「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことです。

テーマ：「地域共生社会」（例：ここつなネット 気にかかけあいの 地域づくり）

受付期間：7月31日（水）まで

対象：小学生以上の方

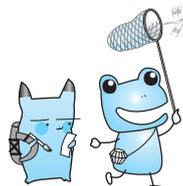
応募方法：二次元コードよりご応募ください

発表方法：次回ふくしのまち11月号にて発表



応募はこちら

採用された方には、
景品をプレゼント！



採用された標語は、
市内のイベントで
しおりとして配布するよ



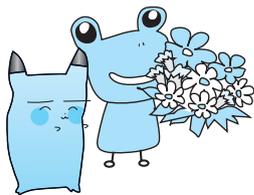
今年もよろしくお祈いします！ 社会福祉協議会

会員会費募集

社会福祉協議会（社協）では、会員制度をとっており、会員となつていただくことで、多くの市民の皆さまや関係団体・機関と協働しながら、身近な地域で共に支え合う地域福祉を基本に“**ふだんの暮らしの幸せ**”を目指しています。

地域の皆さまから寄せられる会費やご意見等は、福祉課題を把握し、その解決を図るための福祉活動などの貴重な社会資源となっています。

現在まで私達の社会環境は、就業や雇用形態の変化、少子高齢化、核家族化など目まぐるしい変化を遂げてきました。生活が豊かで便利になる一方で、8050問題やヤングケアラーなど複雑で多様な課題が多く生まれています。これらの課題解決には、一番身近な地域の力が不可欠です。「鶴ヶ島に住んで良かった」と誰もが感じることが出来る地域となるよう、社協の事業にご理解、ご協力をお願いします。



昨年度は、個人会費4,171口・団体会費101口・賛助会費90口、合計3,183,000円が市内で行われている地域福祉活動に使われました。
ありがとうございました。

個人会員	年額一口	500円	個人入会者や世帯など
団体会員	年額一口	1,000円	社会福祉団体、ボランティア、市民活動団体など
賛助会員	年額一口	10,000円	法人、事業所、篤志家など



社協会員
会費



Q 会員会費の使いみちは？

A 市民の皆さんと一緒に進めていく**住民主体の地域福祉活動**を行うための大切な財源となっています。「誰もが安心していきいきと暮らせるまち 鶴ヶ島」を目指し、多くの市民の方やボランティア団体等が自分の住む地域を知り、良いところを伸ばし、困っていることを解決する方法を考え、手を取り合いながら活動を行っています。活動の一部を、5ページで紹介しています。

Q 会員になるにはどうすればいいの？

A 会員加入の申込は、自治会回覧等を通じてご協力をお願いしています。また、社協の窓口でも加入できます。社協への来所が困難な場合は、訪問での対応も可能ですので、ご連絡ください。
※住所、氏名のご記入がないと登録できませんので、ご了承ください。

Q 会員になるとなにか義務が発生するの？

A 会員になったことで何かしなくてはいけないということはありません。市民の皆さんが会員になることが地域福祉活動に間接的な協力につながり、鶴ヶ島市の地域福祉を支える大きな力となります。



ご協力いただきます
社会福祉協議会

会員会費の使いみち

<地域へ>

地域のつながりづくり
～心と心をつなげるネット
ワーク活動「ここつなネット」～

高齢者や障害を持った方をはじめ、地域の方々が安心して生活できるよう、近所の方と気かけ合う、見守り合う関係性をつくる活動です。

日常のつながりは、災害時に力を発揮します。現在、市内には400を超えるチームがあります。



ご近所同士の世代間交流から生まれる素敵な笑顔



月1回発行している地域づくり便り「えん」に掲載の取材を通じた交流

<学校へ>

思いやりの心を育てよう
～福祉教育体験学習～

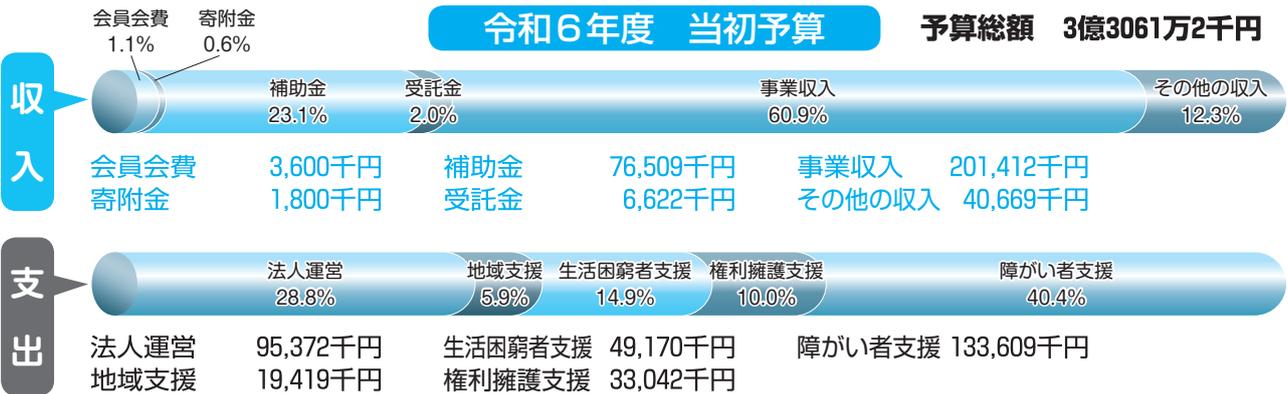
市内すべての学校を対象に、地域の協力者や市民団体等と一緒に子ども達への福祉教育体験学習の支援をしています。「思いやりの心」「共に生きる力」を育て、「助け合い」や「連携」の意識を養うことができるような取り組みを行っています。



南小学校と視覚障害者の会「アイネット」によるアイマスク・ガイド体験

令和6年度 当初予算

予算総額 3億3061万2千円



地域共生社会の4コマまんがができました。ぜひ読んでほしい！



4コマまんがはこちら

つる♡ほっとちゃん
©Hansko Furuta



私の推し活!! つるがしまボランティア!!



～彩の国ボランティア体験プログラム2024 in 鶴ヶ島～

この夏は、ボランティア活動の「推し」を見つけてみませんか？
地域の人達との交流や自然を守る活動、施設でのお手伝いなど様々な活動から、自分の関心のある活動を見つけてチャレンジしてみよう！



施設での活動

保育園や幼稚園でのお手伝い、
高齢者や障害者支援施設での
交流やお手伝いなど



高齢者の方との談話、施設内清掃
(まごころの家*あゆみ脚折)

地域での活動

市民の森整備活動、地域の方との交流など



孫の手を作ろう！
(壮年塾 Gのつどい)



市民の森整備活動
(NPO法人つるがしま里山サポートクラブ)

参加申込方法



① 詳しい体験プログラムを見る

「彩の国ボランティア体験プログラム2024」をホームページでご覧いただくか、二次元コードを読み込んでください。



登録はこちら
(ホームページ)

② 参加したいプログラムを決めて申し込みをする

まずは「鶴ヶ島市ボランティアセンター」の公式ラインを登録ください。(①の二次元コードをご利用ください)

登録が確認できましたら、申し込みフォームのご案内します。

受付申し込み期間：7月中旬頃（予定）

時間：午前9時～午後5時

場所：社会福祉協議会（市役所6階）

またはオンラインで申し込み

不明な点は
社会福祉協議会
まで

③ Let's volunteer さあ ボランティア！

申し込んだボランティア活動をそれぞれの場所で行ってください。

④ 振り返り

自分の活動をはがきを書いて、
ふりかえってみよう！



経験が成長へ！



様々なコミュニケーションに触れてみませんか？

手話講習会（入門）

「手話を始めてみたい」という方にピッタリな講習会です。

対象：16歳以上で市内在住在勤の初心者
 日時：8月26日～令和7年3月24日
 毎週月曜日 午前10時～12時（全23回）
 場所：鶴ヶ島市役所（市役所内会議室を予定）
 定員：20人（定員を超えた場合は抽選）
 教材費：3,300円
 申込：電話または二次元コードより
 8月13日（火）まで
 問合せ：手話通訳者派遣事業
 （8ページ窓口一覧を参照）



申込はこちら



手話
ワンポイントレッスン
「勉強」

両掌を手前に向け斜めに並べ立て、軽く前へ2回出す

点字講習会（入門）

点字は六つの点を使ってあらわす、目の見えない方にとっては、欠かせない文字です。この機会に点訳を体験してみませんか。

対象：点字に興味、関心のある方 ※両日とも受講できる方	参加費：無料
日時：9月14日（土）午後1時30分～午後4時30分 9月21日（土）午後1時30分～午後4時30分	内容：点字図書の基礎知識、点訳の方法と実技、 点字絵本づくり
場所：鶴ヶ島市役所 6階会議室	持ち物：筆記具、はさみ、飲物
定員：10人（申込順）	申込：7月22日（月）から 問合せ：社会福祉協議会 049-271-1414

デージー編集者講習会（入門）

デージー図書とは「デジタル録音された音声による本」です。デージー図書（録音図書）は、活字を読むことが難しい方々にアクセシブルで豊かな読書環境を提供することができます。この講習会では、デージー図書製作用ソフトウェアを使用して、デージー図書編集者としての基本的な編集手順を学習します。

対象：鶴ヶ島市に在住・在勤の方 ※全日程を受講できる方	場所：鶴ヶ島市役所 6階会議室
日時：10月30日（水）午前10時30分～午後3時30分 10月31日（木）午前10時30分～午後3時30分 11月1日（金）午前10時30分～午後3時30分 （全3回）	定員：10人（申込順） 参加費：無料 持ち物：筆記具、昼食 申込：9月10日（火）から 問合せ：社会福祉協議会 049-271-1414

タオルとラップの芯の募集は終了しました。 ご協力ありがとうございました！

昨年11月に発行した「ふくしのまちNo. 151号」へ持参の協力依頼を掲載したところ、多くの方々がお持ち下さいました。皆さんのあたたかいお気持ち、本当にありがとうございました。タオルは雑巾に、ラップの芯は車いすのストッパーに生まれ変わり、市内の施設で活用されています。





ご協力ありがとうございました！令和5年度共同募金運動

募金実績額（鶴ヶ島市）

赤い羽根募金 3,142,722円 地域歳末たすけあい募金 2,358,896円

災害義援金

埼玉県共同募金会を通じて、被災された方々を支援することを目的に義援金を募集しています。

社会福祉協議会窓口を設置の義援金箱、もしくは振込等による協力方法があります。

また、被災された方々への支援活動を行うNPO・ボランティア団体などの活動に役立てていただく、「支える人を支える募金」支援金の募集も行っています。

詳しくは、「赤い羽根 災害」で検索

被災されたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

（現在募集中の災害義援金）

◎令和6年能登半島地震災害義援金（新潟県共同募金会、石川県共同募金会、富山県共同募金会、福井県共同募金会、中央共同募金会）12月27日まで



愛ちゃんと希望くん
©中央共同募金会



災害・被災地
支援はこちら



地域で
支えるしくみ

つるがしま ふれあいサービス協力会員 募集

つるがしまふれあいサービスは「住み慣れたまちで、安心して自立した生活ができるように」地域で支え合う福祉のまちづくり活動です。
※このサービスは有償ボランティア活動（1時間700円）です。利用したい方は1時間800円の費用がかかります。

問合せ 社会福祉協議会 049-286-5739

特別な資格は必要なく、週に1時間の活動でも大丈夫。

家でしているお掃除くらいならできる！

買い物のお手伝いならできるわ。

研修会や連絡会なども随時行っているから、スキルアップもできる！



あたたかい善意、ありがとうございました。
（社会福祉協議会への寄附）

お寄せいただきました善意は、社会福祉事業に活用させていただきます。（順不同、敬称略）

鶴ヶ島パソコンサポートボランティア	10,000円
(株)ベルク すねおり店お客様一同	59,290円
(株)ベルク 鶴ヶ丘店お客様一同	28,128円
武州ガス株式会社	50,000円
第12回北市民センターチャリティーカラオケまつり実行委員会	20,000円
ちょきちよきはなちゃん	3,838円
平成会	7,734円
大越 忠則	1,000円
(株)三愛メモリアル 代表取締役 鴨下 三夫	30,000円
田口 治彦 HDM Iケーブル	
第一生命保険(株) 鶴ヶ島営業オフィス	食品
横山 明美 プリザーブドフラワー、コサージュ	
J Aいるま野北部女性部	タオル
野口 良恵	衣類

その他、匿名にて4名の方から寄附金と物品をお寄せいただきました。

（令和6年2月1日～令和6年5月31日）

窓 口 一 覧

■鶴ヶ島市社会福祉協議会

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木16-1（市庁舎6階）

（月～金曜日 午前9時～午後5時15分）

電話 049-271-6011（代表） FAX 049-287-0557

●手話通訳者派遣事業担当

FAX 049-271-6277 電話 049-271-6278

●権利擁護支援センター

電話 049-277-3317

●障害者相談支援事業所

●鶴ヶ島市生活サポートセンター

電話 049-277-4116

■鶴ヶ島市立障害者生活介護施設「きいちご」

（月～金曜日 午前9時～午後5時15分）

〒350-2217 鶴ヶ島市三ツ木935-1

電話 049-287-7456 FAX 049-298-3241

